

Since 1976

横浜市立元石川小学校

令和3年10月4日



学校だより

10月号

HP <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/motoishikawa/>

横浜市青葉区美しが丘4-31-1

TEL 045(902)1821

暮らしの中から生まれた知恵

校長 鈴木 彰

夏が過ぎ、景色の見え方が少しずつ秋らしくなってきました。朝、たまプラーザに向かって出勤してくるとき、日産スタジアムの隣にきれいな富士山が見えます。今の時期は茶色と灰色を混ぜた色の富士で、初冠雪も見られました。もう少し経つと真っ白な富士に変化します。ちなみに、夕方の富士山は、オレンジ色の背景に真っ黒なシルエットとなっています。

富士山がはっきり見られると「今日は、いい天気だな。」、夕方のシルエットが鮮明だと「明日も晴れだな。」と、天気予報までしてしまいます。

そういえば、日本は、天気を予想する言葉やことわざが多いですね。「月が笠をかぶると明日は雨」のように。科学的な裏付けがあるかどうかは別として、長年の経験から生まれたものなので、当たる確率が高いものです。地域独特の現象もあるようです。



以前、気象庁に勤めていた藤井幸雄さんという方は、天気に関することわざがどのくらい当たるのかということを実際に調べたそうです。いくつか紹介しましょう。

- アマガエルが鳴くと雨……………66%
- 夕焼けは晴れ……………66%
- 朝焼けは雨……………63%
- 笠雲がかかると雨……………75%
- 遠くの山が近くに見えると雨……………68%
- 月が笠をかぶると翌日は雨……………63%



3回に2回は当たる確率ですから、かなり高いですね。もっとすごいのは、「阿蘇の煙が西になびけば雨。南になびけば晴れ。」というもので、確率90%で当たるのだそうです。

昔は、今以上に、農家の仕事などが天気に左右されたので、天気による身近な自然の変化に敏感だったのでしょうね。「アリが巣にふたをする」などの生き物の変化、「朝霧が張る」などの気象の変化など、何十年、何百年という月日の積み重ねの中から真剣に見つけ出されたものが多いに違いありません。

パソコンやタブレットで何でも調べられる今、そして「OK! △△」「Hey! ○○」と呼べば自動音声で何でも応えてくれる今、「そんな不確かな方法で?」と思われるかもしれませんが、でも、これからの時代も、暮らしの中から生まれる知恵は大切にしたいものです。子どもたちには、自然や社会の中で自分の感性が磨かれることを感じながら、大人に成長してもらいたいと思います。

今日から全員揃った学校生活が再開しました。教科書を使った学習をしっかりと進めながら、暮らしの中から生まれる学びも大切にしていきたいと思います。